

地域包括支援センターネットワーク委員会の魅力について

地域包括支援センターネットワーク委員会 委員長 矢部利彦

ソーシャルワーカーの皆様、日々の業務お疲れ様です。地域包括支援センターネットワーク委員会の矢部利彦と申します。当委員会の趣旨は、地域包括支援センターに従事する社会福祉士及び社会福祉に関する全ての職員を対象に、地域におけるネットワークづくり、権利擁護、総合相談支援等の内容で研修会を実施しています。また、包括職員個々のレベルアップや他市町村の枠を超え、包括の職員同士がお互いに、「そうだ!困った時は、あの地域の□□地域包括の〇〇さんに相談してみよう!」という仲間づくりができる場を目指しています。12月現在、委員は12名で、職場で言いますと大阪市・堺市・東大阪市・吹田市・寝屋川市・藤井寺市・忠岡町と、様々な市町村の方が所属しております。毎月の定例会はオンラインで実施しています。先日の会議でも、「皆様の地域包括では『委託連携加算』はどうしてます?」とざっくりばらんな意見交換をしました。また、メーリングリストやグループラインでもつながっており、気軽に情報交換できる場を提供しています。

定例会以外の活動としては、年に2回ほど研修を実施しています。今年度1回目の研修は、9/29に「他市町村包括との情報交換会」を『いくとく高齢者デイサービスセンター(大阪市阿倍野区)』で行いました。参加者は30名で、経験年数は1年～18年、職場の市町村は大阪市・堺市・東大阪市・吹田市・寝屋川市・茨木市・八尾市・藤井寺市・河内長野市・大阪狭山市・忠岡町とバラエティーに富んだ方々となりました。経験年数の違う仲間や他市町村の包括業務の実情を聞く機会は殆どないので、講師を立てずにグループワークのみで、包括業務について日頃から疑問に思っていること・苦労していることをフラットに話し合い、「情報交換+仲間づくり」にもなる、大変有意義な会となりました。是非、今後もシリーズ化したいと思っています。

2回目の研修は、先月1/18に実施となりました。2021年度から連続で実施している、小山秀之先生シリーズ第4弾です。小山先生は家族システム等の心理系が専門で、内閣府のアドバイザー等多岐にわたって活躍されている方です。今回の内容は「気づきを促す面接技法(1対多数数編)」です。この原稿は12月に作成していますので、昨年度の研修「気づきを促す面接技法(1対1人編)」を紹介します。参加者は42名で、特筆すべきは包括職員以外の参加者が21名(半数)

来られたことです。内訳は行政・教育・病院・介護・一般企業の方方で、先生が高名な方であるのと同時に面接で悩んでいる方が多いことを実感しました。「面接はソーシャルワークの原点である」と共通認識が持てた研修でした。昨年度から研修後の交流会も実施し、小山先生も参加して下さり、新たなつながりも生まれています。この小山先生シリーズも継続していきたいと考えております。

ここで表題にある、社会福祉士会の地域包括支援セン

ターネットワーク委員会の魅力についてあらためて述べたいと思います。私は、2006年全国に地域包括支援センターが立ち上がった時から職員なので、地域包括支援センターの魅力もしんどさも知っているつもりです。そんな中で業務に忙殺され、時にソーシャルワークの原点を忘れてしまいそうになることがあります。そんな時は、この委員会の定例会や研修で、仲間と議論したり談笑したりすることで、原点回帰しております。もちろん情報交換の場であることは重要ですが、仲間同士の癒しの場としての機能も大切ではないでしょうか。前述の研修参加者の中には、「包括が一つしかなく、自分たちの業務についての相談ができない」という悩みを抱えている方もおられました。包括の業務方法は、行政や法人のスタンスにより左右されますが、「ソーシャルワークの根っこ」の部分は変わらないと思っています。今後も、ソーシャルワークの原点を基に自己研鑽を積めるような、魅力的な委員会を目指して行きます。

委員会メンバーは随時募集しておりますので、ご遠慮なく事務局までご連絡下さい。条件は、現役の包括職員であることと各支部長の推薦(支部活動の有無は不問)です。仲間になりましょう!「思い立ったが吉日」ですよ。

地域包括支援センターネットワーク委員会 研修交流会
～目からうろこシリーズ～

気づきを促す面接技法 パートⅡ

参加費
会員1500円
非会員3000円
(税込)

こんな悩みにアプローチ!
☒ 私の面接を見なおしたい
☒ 1対多数数の面接これでもいいの?
 <交流会あります>
 17:00～
 近くの飲食店にて
 場所は調整中
 小山先生も参加されます!

研修内容
対面式のグループワークで学びます

開催場所
大阪府社会福祉会館 402号室
(大阪市中央区南船場7丁目4-15)

日時
1/18(土)
・14:00～16:30

定員
先着40名

締切:1/6まで
(定員に達しない限り、変更はなし)

講師: 小山秀之
特定非営利活動法人ProNet(理事長)
横浜国立大学(客員准教授)
内閣府こども家庭庁(アドバイザー)
臨床心理士・社会福祉士・公認心理師

申し込み方法
先着40名まで
先着順で申し込み
申し込みは
大阪府社会福祉会館
402号室
06-6544-2771



生涯研修センター情報 **倫理綱領・行動規範の改定後の伝達について**

生涯研修センター 生涯研修部会 中西茂之



皆様は社会福祉士の倫理綱領・行動規範と聞いて、どのような印象をお持ちでしょうか？「聞いたことあるけどよくわからない」という方から、「実践においていつも活用していますよ」という方まで幅広いテーマではないかと思います。

社会福祉士の倫理綱領は、1995年に採択されて以来、社会福祉士の専門職としての価値観であり、行動指針として大切にしているものとなります。行動規範は、倫理綱領を行動レベルに具体化したものであり、社会福祉士が倫理綱領に基づいて実践するための行動を示しています。時代の変化に応じた内容に改定しており、国際ソーシャルワーカー連盟と国際ソーシャルワーク学校連盟が2014年にソーシャルワーク専門職のグローバル定義を採択したことに伴い、一番新しい倫理綱領は2020年6月に、行動規範は2021年3月に採択されました。最新の倫理綱領ができてから4年以上経過していますが、日本社会福祉士会では全会員にきちんとした内容を伝達できていないという認識があるようです。

大阪社会福祉士会における倫理綱領・行動規範の研修
は基礎研修Ⅰ、Ⅱで学びます。また、後見人名簿登録者継続

研修で実施していますが、全会員が倫理綱領・行動規範の
みを学ぶ機会に乏しい現実があります。そのため日本社会
福祉士会では倫理綱領・行動規範講師養成研修を実施し
ており、その中で、中田雅章副会長は「三訂社会福祉士の倫
理：倫理綱領実践ガイドブック(中央法規)」に事例も含め、
解説が載っているので、是非とも購入して確認してほしいと
のことでした。今後、生涯研修センター生涯研修部会でも研
修等を企画できるよう検討していければと思います。



地域情報

南支部は和気あいあいとまとまってやっています♪

大阪南支部 宮本和俊

いつもお世話になっております。私は、大阪南支部支部長の宮本和俊と申します。この度は、支部の活動についてのご案内と、一緒に活動する仲間の募集をしたいと思っています。

南支部では、支部会員同士の交流を目的とした交流会とソーシャルワーカーとしての視点を養うための研修会、事例について理解を深める事例検討会の三つを軸として活動をしてきています。

今年度は、9月に交流会を開催し、衣笠副支部長より、生涯研修制度や成年後見活動などを通じた学びのお話を、後半で自由に情報交換を行いました。基礎研修の内容などそれぞれ何気に気になっていたことを質問し合う機会になりました。

また研修会は11月に認定NPO法人D×Pさんに講師をしていただき、若者をめぐる現在の課題や背景について講義いただきました。事例検討会は、今年度はクローズの形で取り組んでいます。検討会の進行役、SV役など参加者さんと交代しながら、共に学ぶ機会になっています。

こうした活動を住吉区にある特別養護老人ホームなどの一角をお借りして、支部役員で毎月話し合いながら、企画運営について検討をしています。時には「別の機会で受けた研修がよかったので、支部でも呼んでみたい」また時には「最近読んだ本の作者に直接講義をしてもらいたい」といった役員さんの提案で、研修会を実現したり、アンケートなどで聞き取った希望などから企画を検討するなどしています。また最近では、役員の成年後見活動や日頃の業務の中での困りごとなどを共感し合い、情報交換をしています。支部の研修の後には懇親会で一杯いくという流れも定番です。

南支部では、引き続き一緒に活動してくれるメンバーを求めています。見学・参加など希望があればぜひ、支部公式LINEやメールアドレスなどにお問い合わせください。

南支部メール
fukushishi07@yahoo.co.jp



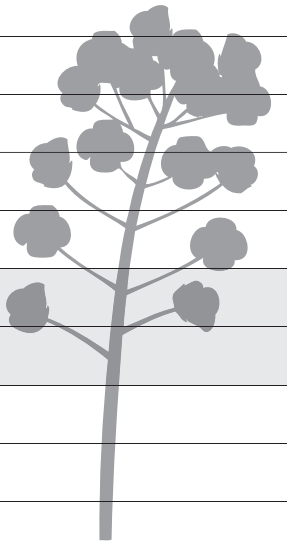
活動予定

2月

3月

1 土	なにわだより発行
2 日	国家試験:社会福祉士
3 月	相談C支援班会議
4 火	
5 水	
6 木	
7 金	
8 土	近畿ブロック 研究・研修大会 兵庫大会
9 日	(洲本市文化体育館)
10 月	
11 火	理事運営会議 (建国記念の日) 医療福祉従事者のための後見研修
12 水	
13 木	生涯研修部会／地域包括NW委員会
14 金	
15 土	
16 日	基礎研修Ⅰ
17 月	
18 火	
19 水	
20 木	支部長事務局長会議
21 金	
22 土	
23 日	(天皇誕生日)
24 月	(振替休日)
25 火	
26 水	
27 木	
28 金	

1 土	
2 日	実習指導者フォローアップ研修
3 月	
4 火	
5 水	
6 木	
7 金	
8 土	
9 日	
10 月	
11 火	
12 水	
13 木	生涯研修部会／地域包括NW委員会
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	
18 火	相談C運営会議
19 水	
20 木	支部長事務局長会議 (春分の日)
21 金	
22 土	理事運営会議
23 日	
24 月	
25 火	
26 水	
27 木	
28 金	
29 土	
30 日	
31 月	



なにわの掲示板

2024年度成年後見活動報告書の提出について

成年後見人等名簿登録者の皆さまにおかれましては、成年後見活動の定期報告の時期となりました。
ご案内しておりますとおり、2022年度よりシステムを使用した報告書の提出に変更となっています。
システム内で報告書等提出書類を作成いただき、2025年1月末日時点の活動状況を2025年2月20日(木)までに提出してください。提出期限の厳守にご協力をお願いいたします。

退会について

退会を希望される方は、事務局まで「退会届」をご請求いただき、ご記入・ご捺印の上、ご提出ください。
なお、2024年度末で退会の場合は、2025年3月31日(月)必着で退会届をご提出していただく必要があります。退会日は「事務局において退会届を受理した日」となります。
退会届の受理が4月1日以降になりますと新年度も会員資格を継続することとなり、2025年度の会費支払義務が発生しますのでご注意ください。

本会HP会員ページのID／PWについて

会員ページの閲覧にはID／PWが必要です。ID／PWは新入会時の資料送付状に記載しています。わからない方は、必ずメールもしくはHPのお問い合わせフォームで会員番号・氏名を明記の上お問い合わせください。電話ではお答えできません。

住所・勤務先などの変更について

住所・氏名・連絡先・勤務先・会費の引落口座などの変更があった場合は、本会HP「会員専用ページ」>ダウンロード一覧>★大阪変更届(2022年2月)よりダウンロードできますのでお忘れないようにご提出をお願いします。

事務局の電話・窓口対応時間について

事務局の電話対応時間を10:00～12:30、13:15～17:00とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

2025年度 役員選挙に関する公示

2025年度は役員改選の年度となります。
公示の案内が同封されていますので、ご確認の上、自薦、他薦を問わず役員選出へ皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

本会推薦で公的委員に就任されている皆さまへ

日頃より当会の運営にご協力いただきありがとうございます。
各自治体の公的委員(介護認定審査会、障がい支援区分認定審査会委員等)として本会が推薦し、それぞれの分野でご活躍されていると存じます。ご就任前に確認いただきました推薦基準を改めてお目通しください。

公的委員への推薦に関しては、入会3年以上、基礎研修修了者等の個人条件とともに次の要件も承認いただける方を推薦しています。

- 1 公平性を確保する観点より連続した推薦は原則最大2期4年とすること。
- 2 本会に対して年間最大3万円を上限に報酬より2割程度の一般寄付をお願いできる方

上記2点を推薦基準とし各支部にて候補者の推薦を行い、理事会で承認を行っています。

この推薦基準は公平性の観点から広く会員が公益活動へ参加していただく機会を確保すること、本会への寄付金が税額控除の対象となることもあり、多くの会員より一般寄付を募る体制を構築するために理事会で承認されたものです。

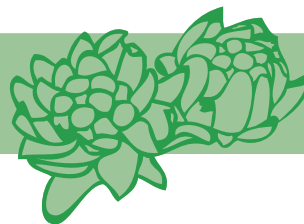
■本会推薦の委員会(審査会等)報酬等の寄付

三井住友銀行 上町支店 普通預金

口座番号: 1193438

公益社団法人大阪社会福祉士会

なお、後見活動の寄付と一緒にされる等のお話も伺いますが、寄付目的が異なりますので、必ず後見活動の寄付(ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行)と違い、上記の口座へお振込みをお願いします。



編集後記

2025年最初のなにわだよりの発行になります。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は元旦に地震が襲い掛かり、夏には豪雨と、能登半島では甚大な被害が続いています。その上、度重なる地震(余震)が続き、身も心も苛まれる状況です。

被災地とは離れている私たちは、本震の当日はビックとしたもののそのうち何か人ごとのようにふるまっていたましたが、昨夏の日向灘での地震で南海トラフ地震臨時情報が発表されるとちょっと目が覚めたように不安感がよぎるようになりましたが、それもすぐに昇華してしまっています。その後、1/13(月)に再びアラームが鳴りかけましたが...

皆さま方におかれましてはこの間の様々な警告に対していかが感じられていますでしょうか。

過度の備え過ぎは、負担になりますが、日々心の準備を持つようにしなければと考えるようになりました。

(たまちゃん)

大阪社会福祉士会 会員数(12月末現在) 2,440名



公益社団法人 大阪社会福祉士会

Osaka Association of Certified Social Workers

〒542-0012 大阪市中央区谷町七丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内(1階)

編集責任者: (公社)大阪社会福祉士会 会長 前川阿紀子

事務局開局時間/月～金の平日 10:00～12:30、13:15～17:00

TEL 06-4304-2772 FAX 06-4304-2773 E-mail ofuku@oacsw.or.jp URL <http://www.oacsw.or.jp/>